



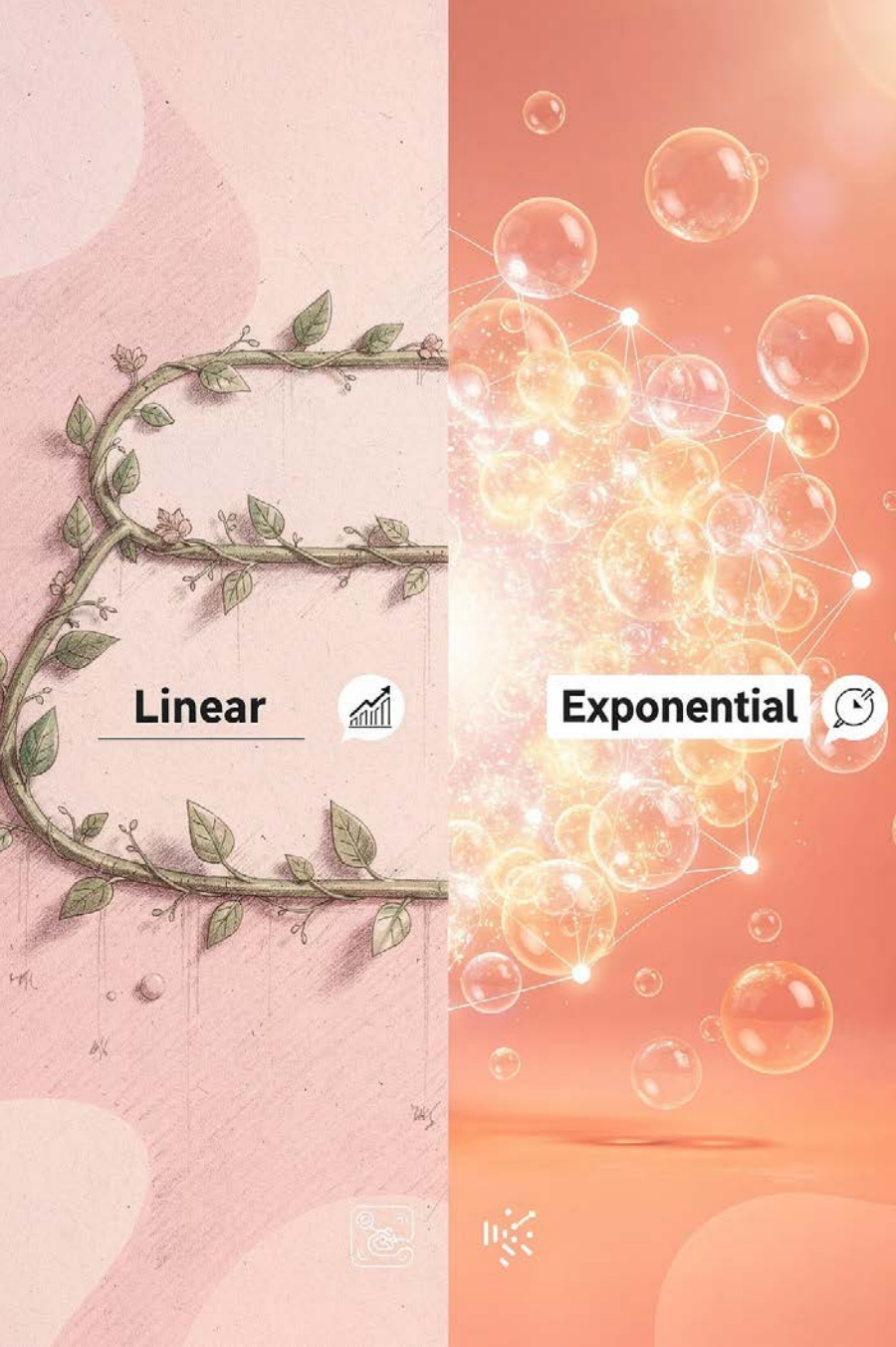
DXPの「勝手にDX」提案《概要版》

カゴメ株式会社健康サービス 事業へのDX戦略提案

バイオ・アグリ・シンクロナイゼーション エコシステム
の構築による健康サポートサービス事業の変革

株式会社DXパートナーズ

2026年1月5日



現状分析

「アナログ前提」の限界

事業の起点

現状:「モノ(ベジチェック、ジュース)」の提供

あるべき姿:「コト(健康状態の永続的最適化)」の提供

顧客との接点

現状:点(イベント時の測定、セミナー受講)

あるべき姿:線・面(24時間365日のバイオデータ同期)

成長モデル

現状:リニア成長(営業工数・機器台数に比例)

あるべき姿:ノンリニア成長(データ蓄積によるネットワーク効果)



戦略

ツインターボ顧客価値創造エンジン

ターボチャージャー1

高速・高頻度・高成功率な価値創造

ソフトウェアとAIを用い、個々のユーザーに対して「どの野菜を、いつ、どう食べればベジチェックのスコアが上がるか」という仮説検証を高速で回し続けます。

ターボチャージャー2

ネットワーク効果による価値創造

ユーザーが増えるほど、バイオデータと食生活データの相関精度が向上し、CropScopeの生産計画が最適化され、プラットフォーム全体の価値が幾何級数的に増大します。

Kagome Bio-Sync Sphere

土壌から細胞まで(Soil to Cell)の価値提供

バイオデータ測定

ベジチェックによる皮膚カロテノイド値の測定と食事ログの記録

結果フィードバック

スコア改善を確認し、アルゴリズムを継続的に最適化



AI分析・予測

個人の欠乏栄養素と健康リスクを予測し、最適な野菜を選定

CropScope連携

契約農家の高栄養価野菜の生育状況と収穫時期を同期

パーソナライズ配送

個人の健康状態に最適化された野菜・ジュースを直送

ターゲット顧客の再定義



イノベーター層

Bio-Hackers / Quantified Self。自分の身体データを測定し最適化することに喜びを感じる層。ZoeやOura Ringのユーザー層。



アーリーアダプター

Eco-Wellness Advocates。自身の健康と地球環境の持続可能性をリンクさせて考える層。Farm to Forkの信奉者。



B2B顧客

健康経営推進企業・健保組合。従業員のメタボリックシンドローム予備軍を減らし、医療費を抑制したい組織。

5つの顧客価値の創造



使用価値

スコアに基づき、翌週届く野菜/ジュースが自動的に最適化される



体験価値

アプリ上で自分の「体内農園」アバターが育つゲーミフィケーション



共感価値

自分の消費が契約農家の持続可能な農業を支えているという参加感

従来の「野菜を食べましょう」という画一的な指導から、AIエージェントによる個別最適化された価値提供へと進化します。



新しい稼ぎ方の創造

1 カゴメ・バイオ・プライム
月額サブスクリプション(3,000円~)。小型ベジチェック利用権、AI栄養コーチング、健康直送便の割引、提携店舗でのクーポンを提供。

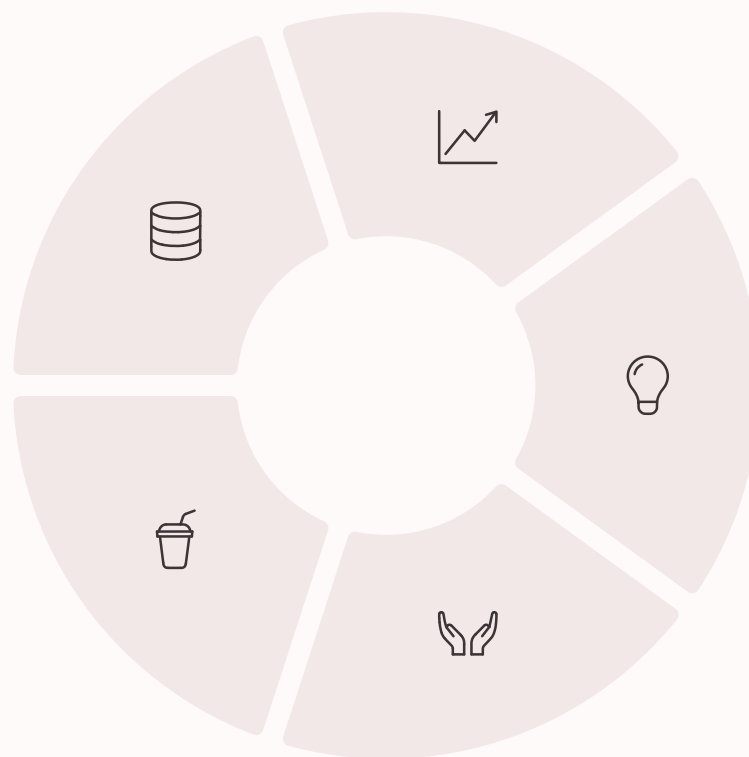
2 成果報酬型企業プログラム
従業員のベジチェック・スコア改善度合いに応じた成果報酬型(Pay for Success)契約。医療費削減貢献額の一部をシェア。

3 データ・プラットフォーム事業
蓄積された「日本人の食生活・バイオマーカー・健康状態」のビッグデータを匿名化・統計化し、食品メーカー、製薬会社、保険会社へ提供。

データ・フライホイールの設計

入力
ベジチェック測定、食事記録画像解
析、CropScope農作物データ

フィードバック
スコア変化を確認、報酬付与、アル
ゴリズムの教師データ化



分析・予測

欠乏栄養素と健康リスク予測、高栄
養価野菜の入荷予測

選択肢提示

AIが在庫と健康状態をマッチング、
最適な配送ボックスを提案

無選択型意思決定

「これが最適です。承認しますか？」
選択コストを最小化

ノンリニア成長の実現

コールドスタート問題の解決

既存の1,500以上の企業・自治体顧客を活用し、社員食堂や休憩室を「ヘルス・ステーション」化します。

- ベジチェックを無償または極めて安価で設置
- 社員証やスマホアプリでタッチするだけでログイン
- 部署対抗、企業対抗の「ベジ選手権」を開催

エコシステム形成

- 保険会社との連携:スコアに応じた保険料割引
- 小売との連携:店頭ベジチェックと即時クーポン発行
- 生成AI時代の「コア」提供:信頼できる栄養データと安全な野菜の供給元としての地位確立



実現へのロードマップ



📌 トマトの会社から「命を育むアルゴリズムの会社」へ

バイオデータとアグリデータを同期させ、個人の健康アウトカムと地球の持続可能性を同時に最大化するプラットフォームへの変貌を遂げます。